

# 第5回日本ケータイ小説大賞

## 「第5回日本ケータイ小説大賞」受賞作決定！ 大賞は櫻井千姫さんの『天国までの49日間』

2月24日全国書店にて発売、電子書籍も同時発売！

株式会社毎日新聞社(東京都千代田区一ツ橋1-1-1、朝比奈豊 代表取締役社長)、スタート出版株式会社(東京都中央区日本橋3-3-9、菊地修一 代表取締役社長)で構成する日本ケータイ小説大賞実行委員会は、2回に渡る読者投票を勝ち抜いた15作品の中から、大賞1作品(賞金100万円)、優秀賞2作品(賞金各30万円)など第5回日本ケータイ小説大賞の入賞作品を決定しました。大賞作品は2月24日に発売、大賞以外の入賞作品は順次書籍化を予定しています。今回の応募総数は過去最高の9116作品でした。

	著者名	作品名
大賞	櫻井千姫 (さくらいちひめ)	『天国までの49日間』
優秀賞	コン (こん)	『有明先生と瑞穂さん』
優秀賞	高橋あこ (たかはしあこ)	『太陽が見てるから』
TSUTAYA賞	櫻井千姫 (さくらいちひめ)	『天国までの49日間』
特別賞	イアム (いあむ)	『放課後図書室』

※名前はいずれもペンネーム。( )は読みがな。

### ■「第5回日本ケータイ小説大賞」概要

主催：日本ケータイ小説大賞実行委員会（毎日新聞社、スタート出版）  
 共催：E★エブリスタ  
 特別協力：NTTドコモ  
 協賛：TSUTAYA  
 後援：スポーツニッポン新聞社  
 審査員：てんちむ（カリスマギャルブロガー・モデル）  
 熊谷宜和（エヌ・ティ・ティ・ドコモ コンシューマサービス部 コンテンツ担当部長）  
 山田香織（カルチュア・コンビニエンス・クラブ BOOK Unit）  
 池田純（エブリスタ 代表取締役社長）  
 内藤麻里子（毎日新聞東京本社学芸部編集委員）  
 新井俊也（スタート出版専務取締役）

（敬称略）

## 大賞・TSUTAYA賞 『天国までの49日間』 櫻井千姫

### 櫻井千姫（さくらいちひめ）

読書と占いが好きな、20代女子。

本作は2008年にケータイ小説サイト「野いちご」にて書き上げられ、以来、ファンからの書籍化リクエストが多数上げられている。

### 作品紹介

中学2年生の折原安音（おりはらあんな）はいじめを苦しんで自殺をする。安音の人生はそこで終わり…と思いきや、49日間は幽霊としてこの世に留まることに。その間、いじめの詳細を書いた遺書が発見されないことや、大して反省をしていない様子 of 友人達を見て、死んだ事を後悔する安音。唯一安音と会話ができるクラスメイトの榊といることで、忘れていた家族の大切さや、友情の温かさを見つけ、そして、初めての恋を経験する。

### 審査員：てんちむ氏評

いじめが止まない現代、友達や家族のキモチがよく考えられるし、苦しんでいる子たちの救いになる小説ではないかなと思いました。イケメンの榊くんと恋愛にはきゅんきゅんしました。続きがみたいです！この世界観ハンパない！！

### 審査員：山田 香織氏評

いじめる側、いじめられる側、心の動きがよく描かれている。学園ホラーのエッセンスが加わり、メッセージ性がありつつ、深刻になりすぎない読みやすさがある。

### 審査員：内藤 麻理子氏評

自殺したにしては主人公が明るすぎ、最初から許しが視野に入るあたりはやや性急な感じがする。しかし「いじめ」をテーマにし、救済の道を見出そうとした志は高く、かなりな程度その目的を達成している。また、ファンタジー・ホラーとしてのストーリー性、小説としての完成度が非常に高い。

## 優秀賞 『有明先生と瑞穂さん』 コン

### コン

長崎県島原半島出身の20代女子。マイペースで楽家なB型。趣味は漫画を読んだり描いたりすること。E★エブリスタにて2009年8月に『有明先生と瑞穂さん』を執筆開始。現在は同サイトにてスピンオフ『有明先生と瑞穂さんの非日常』を執筆中。

### 作品紹介

高校2年生の瑞穂晴はある日突然有明先生から告白される。少し強引な先生のペースに乗せられつつも楽しい日々を過ごしていた瑞穂は、幼なじみの布津からも好きだと告げられる。過去に友達からいじめられた苦い経験をもつ瑞穂は、仲間を失うことを恐れ、どちらにも返事をできないでいる。

### 審査員：てんちむ氏評

こんな恋愛したいです。禁断の恋って萌える♥ ドSな先生ってイイ！ 素直な布津くんもイイ！ 登場人物それぞれの個性が活かされていて、楽しく読めるしハマってしまいます。とりあえず主人公になりたい♥♥♥

### 審査員：池田 純氏評

青春のテーマともいえる学校生活と恋愛を、先生と生徒という視点からありありと描いていて胸にくるものがあった。コミカルな文体で面白く描かれており、ストレスを感じずに読むことができた。それぞれのキャラクターの人物像もしっかりと掘り下げてあり好感を持てた。今後の活躍に期待したい。

**優秀賞**  
**『太陽が見てるから』 高橋 あこ**

**高橋 あこ (たかはしあこ)**

小学一年生の息子のママで、育児に奮闘中の27歳。のんびりマイペースで、趣味は読書と料理。好きな季節は冬で、夏が苦手。

**作品紹介**

高校1年生の響也はクラスメイトの翠(みどり)から「補欠」とからかわれる野球部の補欠ピッチャー。からかわれてばかりの翠をうるさく感じながらも、その明るさに少しずつ惹かれていく。補欠からメンバーになり、恋も野球も順調かと思っていた時、翠が重い病気を抱えていると知る。「甲子園に連れて行け」という翠の願いと、自身の夢を叶えるため、仲間に支えられながらひたむきに走る、高校生の物語。

**審査員:熊谷 宣和氏評**

翠のキャラクターがいきいきと際立っていてとても好感がもてる。全体を通しての男性目線のところは、読み手によって共感性がわかれるところかもしれない。しかし、野球・甲子園と言うスポーツ、友情と恋愛をうまく織りなした、爽やかさ、暑さと切なさを伴う、これぞ、ザ・青春という素材がぎっしり詰まった素晴らしい作品である。

**審査員:新井 俊也氏評**

ベタではあるが高校野球を題材にした「スポーツ×恋愛」はとても爽やかで、高校生らしい心の葛藤や素直な行動力には、嫉妬さえ覚えるほど。また恋愛だけでなく、命や友情と「青春」にふさわしいメッセージ性を強く感じる作品。粗削りな部分もあるが、キャラクターの魅力がさらにエネルギーを感じさせてくれる。

**特別賞**  
**『放課後図書室』 イアム**

**イアム**

昨年開催されたE★エブリスタ小説大賞にて、エブリスタで公開中の『水曜日の呼吸法』が大賞を受賞。ファン数1万人を超える、人気クリエイター。

**作品紹介**

真面目で大人しい果歩と、クールで掴みどころのない早瀬君は、ともに図書委員の高校生2年生。果歩は中学生のころ早瀬君に告白しOKをもらっていたが、今まで一度も話した事はない。委員会の仕事を通じ、果歩は改めて彼のことが好きだと気付く。勇気を出して想いを伝える、等身大の恋愛小説。

**【この件の問い合わせ先】**

「日本ケータイ小説大賞実行委員会」事務局 スターツ出版株式会社内  
担当：長井 泉(ながい いずみ)  
〒103-0027東京都中央区日本橋3-3-9西川ビル4F  
TEL.03-6202-0386 FAX.03-3272-6480